

生産性向上支援訓練カリキュラム

機構施設名： 秋田職業能力開発促進センター
実施機関名： 株式会社パワートレイン

B. 組織マネジメント	現場社員のための組織行動力向上
組織力強化	

コースのねらい	企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見、業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得する。
----------------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 企業組織と生産活動	(1) 企業経営の仕組み 変わり続ける時代の経営について、経営の目的、イノベーションの必要性や社会の一員としての企業の在り方等の側面から解説する。	0.2
		(2) 生産活動の目的と目標 企業経営の8つの要素、1経営理念と企業の価値観、2戦略、3マーケティング、4組織、5人材、6資金、7オペレーション、8成長と再生について解説する。	0.5
		(3) 経営者の視点とコスト感覚 経営者の視点とコスト感覚について解説し、企業経営の全体像を把握できるようにする。	0.3
	2 状況変化に対応する現場力	(1) 現場力を高めるための要素 強い現場とはどのような現場なのかを、組織力の側面、オペレーションの側面から解説する。	0.5
		(2) 現場の問題発見と改善姿勢 強い現場を作り上げる7つの要素、1企業哲学としての現場力、2脱・ことなかれ主義、3主権在現、4自律的サイクルを埋め込む、5見える仕組み、6オーガナイズ・スモール、7継続する力について解説する。	0.5
		(3) 現場力の継承と人材育成 企業の永続性を担保するためには、それぞれの現場が持つ力(現場力)を次世代に引き継いでいく(継承する)必要があります。現場力の継承について、人材育成の側面を中心に解説します。	0.3
		(4) 専門性向上の必要性 現場力を向上させるためには個人が専門性を持ち、それを維持・向上させる必要性について解説します。	0.2
	3 フォロワーシップと組織行動力	(1) フォロワーシップとは フォロワーシップとは精力的なリーダーを支え、そのバランスを保つ役割を持つ現場のメンバーである。その役割と責任について解説します。	0.5
		(2) 組織行動力に直結するフォロワーとしての役割 リーダーとフォロワーの関係、責任、異議の申し立て方、変革への参画等の事例から自らのフォロワーとしての在り方をグループディスカッションも交えて導き出す。	0.5
(3) 管理者への提案方法 VSS(ビジョン・ストーリー・シナリオ)マネジメントの考え方に沿って、自分の・自分の組織の3年後のビジョンを創造する。ビジョンを達成するための自分自身の役割・使命について改めて考えてみる。		2.5	
	合計時間	6.0	

カリキュラム作成のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・現場力とフォロワーシップの観点から解説を行います。組織力を強化するためのVSSマネジメントの考え方を取り入れた演習を行います。 ・フォロワーシップとコーチングの観点から解説を行います。 ・企業組織と生産活動の中で、強い組織の特徴や、その組織が陥る問題等について解説を行います。